

(議長)

それでは、休憩を閉じて会議を再開いたします。

次に、まちづくり推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

まちづくり推進課参事。

「まちづくり推進参事」

それでは、私からまちづくり推進課所管各科目の令和4年度当初予算につきまして、ご説明をさせていただきます。

主だった事業や新規事業を中心に説明をいたします。それではよろしくお願いをいたします。

まちづくり推進課は、文書広報費と企画費、統計調査総務費の3つの科目を所管しておりまして、令和4年度の事務事業では、全部で17事業となっております。

文書広報費です。

事業No.19番、情報周知発信強化、予算額は116万2千円、引き続き町公式LINEアカウントにより、新型コロナを中心とする情報を随時配信してまいります。その他、従来に加え交通障害や災害情報など住民生活に密接で緊急性の高い情報も周知してまいります。アカウントの登録者数につきましては、今年3月1日現在で、2,286人となっております。

No.20新型コロナウイルス関連情報発信、予算額は257万7千円、財源の国庫支出金は全額臨時交付金です。令和2年度からの継続事業となりますが、これまでは補正予算で措置をさせていただいてまいりました。しかしながら、刻々と変わる新型コロナの状況、あるいは対応については年度間の切れ目なく情報を配信する必要がありますことから、この度は当初予算で措置をさせていただきましました。広報紙本誌への記事掲載と臨時チラシ発行に伴う委託料等を計上してございます。

続いて、企画費です。定例会資料は13になります。事業No.36北の江の島構想推進、予算額は1,118万4千円、その他特財として、ふるさと応援基金繰入金1,110万円です。一般財源は8万4千円。昨年から導入しております、VRコンテンツに加えまして、新年度では隣接する温泉ホテル群来さんが所有する源泉を拠点施設で活用するべく検討を進めます。具体的には拠点施設において、暖房設備への活用ができるのかなど、源泉の現状における湯出量や、温度等の能力を確認する調査事業を実施いたします。また、拠点施設については、先般の全員協議会におきまして、基本構想の素案を提示させていただきました。議会の皆様、そして町民の皆様のご意見をいただいた上、今年度内に構想を完成させたいとしているところでございますが、新年度におきましては、次の手続きである基本計画の作成委託料も計上してございます。基本計画を策定する過程におきましては、議会の皆様には、施設の配置図等をしっかりそういった情報をお伝えし、ご意見を頂きながら進めてまいりますので、よろしく

お願いをいたします。

また、事務の取り進めにあたりましては、引き続き総務省の地域力総合アドバイザー制度の活用を想定してございます。

No.37旧江光ビル跡地活用実施計画策定、予算額は2,126万1千円、全額一般財源です。現在、策定を進めております基本計画及び基本設計は、今年8月末までに完了させるスケジュールとなっています。これらが完成次第、引き続き本工事着工の基礎資料となる実施設計を作成してまいります。基本設計より、詳細な図面や仕様書などを作成するための委託費用を計上しております。

No.39ふるさと応援寄付金対策、予算額は2億2,579万1千円、その他特財として、ふるさと応援基金繰入金1億5,016万円、一般財源は7,563万円です。これにつきましては、中期財政運営方針及び財政基盤強化に基づく、経費を計上するものでございます。令和4年度の寄付金額は、目標を1億5千万円としております。令和3年度の当初予算では、8千万円を目標としておりましたので、この約2倍となる7千万円増を目指すこととなります。主な経費の内訳につきましては、お礼品代とその送料、寄せられた寄付金への基金繰出しのほか、ポータルサイトへの事務代行料などとなっております。

続きまして、新規事業になりますが、No.40ふるさと納税返礼品原材料買い上げ支援、予算額は50万円、寄付金額増加のためには、人気が高い生鮮品の在庫数量を確保することが課題の1つとなっておりますが、町内の返礼品事業者の多くは、小規模経営であることから、余剰在庫を持つことが大変困難な状況にあります。こうしたことから、前年度に在庫切れが生じ、出品が停止となった地元産の農水産物を事業者が仕入れる際にその購入費と冷蔵庫の保管料等の経費に対し、半額を補助いたします。補助の上限額は50万円、年度内1回きりの交付ということで考えてございます。

No.45江差町地域づくりポイント発行事業、予算額は45万9千円、全額その他特定財源、エゾカポイント還元金を充てております。サツドラホールディング株式会社との連携事業として、昨年度から実施している事業で、町内で行われる地域活性化イベント及び町民の健康づくり事業へ参加いただいた方にエゾカポイントを指し上げることによって、商店街振興と医療費の抑制などに繋げてまいります。対象イベントの例を申し上げますが、産業まつりや江差夜市、防災訓練、特定検診等々が上げられます。

No.46ニシンチャレンジカップ実行委員会補助、予算額は160万8千円、事業費の半額をその他特財として北海道市町村振興協会の1日ふるさと推進事業助成80万4千円、残額は同額を一般財源としてございます。令和元年度から3回目の開催となる北海道教育大学函館校との連携事業です。実行委員会によるニシンに着目したまちづくり事業に対し、補助金を交付するもので、引き続き創作料理コンテストの実施、デジタル水族館を設置する他、今回は事業を拡充し、ニシンを絡めた子ども達によるスポーツ大会も企画させていただきます。

最後に、定例会資料14です。事業No.47江差町地域公共交通活性化協議会負担金

です。予算額は621万5千円、町は地域にとって望ましい公共交通の在り方を示す江差町地域公共交通計画策定のため、令和3年度からの2か年で地域における公共交通の利用ニーズと利用実態を把握分析する調査を進めております。新年度におきましては、令和3年度のアンケート調査経過等を踏まえ、地域関係者とのヒアリングや意見交換会、バス利用実態調査などを行い、地域公共交通計画の仕上げを行い、決定をしております。予算の内訳につきましては、事業実施団体である江差町地域公共交通活性化協議会に対する負担金で、同団体が実施する調査事業につきましては、国土交通省所管補助金を充当しながら進められるものです。

以上で、説明を終わります。ご審議方、よろしくお願いいたします。

(議長)

以上で、補足説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑希望、ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

質疑希望ありませんので・・・。

「室井議員」

議長、議長、議長。

(議長)

誰。あ、室井議員。

「室井議員」

まず簡潔に質問をしたいんですけど、今江光ビルの跡地のね、今回は実施設計の予算です、8月以降。そうですね。(はい) 実施設計ですね。これ今あの前、繰越明許補正でやりましたね。あれは1千万ちょっと、全部合わせて1千万超えますね。あれは何なんですか。基本計画と何ですか。ボーリング調査ですか。ボーリング調査費入っているんですか、1千何百万の中に入っているんですか。これははっきりして下さい。

課長ね、どうこう言うんでないんだよ。ちゃんと基本的なことをちゃんとわかっているかなあと思って疑問感じてずっと感じている。まず基本構想でしょ。どういうものを作りたいんだと。これお金掛かっていますか。どっかに頼んでいませんか。基本構想まとめていくのに。そして基本計画でしょ。そして普通は実施計画実施設計なんですよ。これ今1千万と2千万と3千万ですね。物建てる前に掛けるお金、これプラスになりますね。3千万ったら建物、建たないかい。小さいものだったら。もっとその辺考えてやっているのかな。これ疑問だよ。前にも言ったけど。言いなりになって

やっているんでないの、コンサルに。もっとちゃんと見積もり合わせ、競争やらせてね、町の考え方きちっと言ってさ、これでちゃんとやるべきでないんですか。3千万も払うんだよ。3千万、形になる前のお金、しかもすべて一般財源でしょ。町のお金ないって困っているのにさ、3千万のお金、町の単費から出して考えて、はいはいって出す考え方、少し変えてもらった方がいいんでないかい、もう少し詰める。それとも理由があれば別だよ。実はまだこういうこともやりたいんだとか、あれば別だよ。その辺きちっと相手に伝えるべきでないんですか。そう思うけど、課長はいいかな、副町長、ちゃんとその辺ね、ずっと、俺、疑問になっている元なの。何だかね、物が出来る前に金賭けすぎだ。

(議長)

はい。いいですよ。

まちづくり参事。

「まちづくり推進課参事」

今、室井議員の方から江光ビルの実施設計に関しまして、3点程のご意見ご質問だったかなというふうに思っています。

1つ目は基本構想につきまして、自賄直営でやったのかという当たりと、2つ目につきましては、繰越明許費で議決を頂きました基本計画の中身についてでございます。それと3つ目につきましては、実施設計の費用予算ということで、これら基本計画と実施設計を含めた予算3千万という部分についてのご質問だったというふうに思っています。

まず基本構想につきましては、まず結論を先言いますと町の直営で作りました。ですので、コンサルなどの費用は発生してございません。これは長年、商工会商店街ですね、ビルを解体したという経過がございますので、それらの経過の中では町の方々と十分な話し合いの蓄積があるということで、色々な調査報告書等の成果物がございますので、それら含めて後は議会の皆様からのご意見も十分にいただいてきた経過がございますので、それらを踏まえて整理したものが基本構想ということで、自前で整理をさせて頂きました。これが1つ目です。

2点目の繰越明許させて頂きました基本計画などの業務内容につきましては、ご案内のとおり、江光ビル跡地の全体的な具体像を明らかにしていくための基本計画と、そしてその基本計画に基づく基本設計、そして基本設計を作る前の前提条件を整理するための地盤調査、室井議員の方からも以前もご指摘ございましたけれども、こういう3点の中身で基本設計につきましては、1,100万程度の委託料になったかと思うんですけども議決を頂きまして、現在取り進めているところでございます。

3点目実施計画につきましては、ご指摘のとおり、今現在、基本構想を基にしてですね、最大限それらを最大限と言いますか、かなり再現当地で当該地で再現すると、するならばという大きめの事業予算で計上をさせて頂いています。そういう部分で費用につきましては、2,126万1千円と大きなものでございまして、今のところ

ご指摘の補助財源などは想定がございませんので、全額一般財源とさせていただいているところです。しかしながらこの実施設計を進めるにあたっては、補助財源の獲得ということ決して忘れてはならない訳ではございません。この考え方の中には省エネだとか創エネだという部分で、そういう建物も目指しているということです。それらの実施設計を盛り込むという部分での補助制度があれば意欲的に獲得を目指していきたいと、こう考えていることをございますので、ご理解をお願いします。

「室井議員」

よし、わがった。議長、いいですか。

(議長)

いいですか。はい。室井議員。

「室井議員」

よくね、勉強しているんだな。そういう考え方だ。お金掛けてもこういう部分でね、有利な制度を使って、町に財政がね、入ってくるようなこと考えていますと。

そういうことが大事なんだ、一番。何もそういうこと考えないで言われたとおりでなくて、こういうふう和省エネ制度を使ってやれば、そういう何か補助の関係があるんだよと。だから今高いけども、そういうふうにして、ゆくゆくは町の財源確保にね、財政面に貢献するとか、そういうことをきちっと考えている。

考えているのであれば評価しますので、私はこれ以上の質問はしません。頑張ってもらいたいと思いますよ。はい、いいですね。

(議長)

はい。答弁いいですね。

「室井議員」

いいです。

(議長)

はい。次、小野寺議員。

「小野寺議員」

今の室井議員とも幾ばくか、幾らかは関連するかも知れませんが、今回の北の江の島構想の現時点で整備基本構想に至る過程について、室井議員が資料要求で2つ要請してドーコンが作った提案書と寒地港湾技術研究センターが出した報告書、この2つ議会に議員の全員に配られております。

この点に関して若干お聞きしたいと思います。中身はともかく細かい中身はともかく、まず全体的なこと聞いていたんですが、これは別にまちづくりに限らず色んなと

ころでこの種のものがありますけれども、この数年はまちづくり課がきっと多いのかなと何かを作る前提の今基本構想実施設計うんぬんのもっと前、色んな検討研究の成果品のことについてなんです。

それで率直に言いますが、びっくりしたんですよ。まずドーコンの提案書、今から8年前ですけれども、これ本当に素晴らしい内容だなと一言で言うと。もちろんそれを直ぐ取り入れる、入れないはともかくですよ、こういう考え方がある、ああいう方法がある、これは是非ね、これ予算で作ったから当然予算議会等々で決算等々で要求すればよかったんでしょうけれども、この点についてはある意味私自身失念しちゃっていたんですけれども、議会が要請しなかったら出さないというものね、すべからく出せとは言いませんけれども、この大事な特に北の江の島構想に至る部分、この8年前は町長、照井町長の前の部分ですよ、これきっと8年前。平成26年2月の成果品ですから。前の町長の時にこの提案書作るための委託契約掛けて成果品出たんでしょうけれども、いずれにしても適時適切に今こういうものが出てきていると。

議員、議会が、議員が要請しなかったら出さないという態度ね。この間ずっと同じ事言っていると思うんですけれども、是非ね、改めて欲しい。

今回問題なのは、その部分ともう1つ、じゃあどれだけのボリュームですかというのね、非常に担当課悩むと思うんです。それでこれはちょっと考え方も知れませんが、寒地港湾技術研究センターこれは2年前、この目次見たらね、これは失敗したなど。私実は裏話すれば室井議員の方にこれ全部出させたら、担当者大変だよと。私知らなかったんです、あんまり中身、まったく知らなかった。300ページあるっていうことも知らなかった。だけど多分この種のもの相当あるだろうと。だからこれ全部出せたら室井議員、ちょっと、うーんって言って、どういう経過があったのか知りませんが30ページくらいですか。だけどこの目次見て下さい、皆さん。42ページ43ページにずっと後ろの方の目次ありますが、どれを取っても北の江の島構想はもちろんですが、例えば奥尻との関係、今ご存じのとおり八雲町と奥尻との関係、フェリーもそうですし養殖もそうですけれども、奥尻とどうしようと。これかなり港湾フェリー、江差港と関係も出てくるんですよ。だからこの全部とは言いませんけれども、必要な部分はやっぱりね、こんな、これだいたい税金で作っているんですからね。秘密にするもの何ものでもない。しっかりと必要な部分は報告してもらおうということはどう考えているか、というのがまず1点。まず1点ね、まず1点。まず1点。

それからちょっと具体的になっちゃうんですが、今回整備基本構想を作る時にこれを参考にさせてもらいましたということで、整備基本構想の例えば29ページとか、もうちょっと前か、なにこれ載ってた。こういうもの、こういうもの、ドーコンの提案書だとか今言った北日本港湾コンサルの報告書を参考にさせてもらいました。ということで29ページには載っている。問題はこれどこでそういうセレクト、色んな提案があってこれは整備基本構想に取り入れる。これは取り入れない、などなどなど。やっぱり広く税金掛けて作った立派な提案書について、やはり事前にこういう提案があるからこういうふうには整備基本構想に取り入れた、取り入れないという経過も見え

るようにしないと、恣意的に何かやっているの、というふうにも、私ね、読んじゃったんですよ、素晴らしい計画が入っているなど、でも、これちょっと難しいのかなとかですね。そういう手立て、せっかく作った提案書報告書等についてどういう手立てでこの整備基本構想に入れてきたのか。またこれから色んなことがあると思うんです。どのように基本的に考えるのか。これ、まちづくり課で言うというのも何なんですかけれども、ここが多いかなということでもちょっとお聞きしたいと思います。

(議長)

はい。副町長。

「副町長」

3点程のご質問だったんですが、冒頭のまさしくこのドーコンの、この26年の2月時点でのこれ、室井議員から資料要求出たと。

結論から先に言います。私実は当時の政策担当課長をしてございました。で、前町長の指示を受けて噛み砕いて言いますと、新幹線開業も控えている、そして北部地域に色んな大型店舗が入ってきている。当時は非常な財政状況でもあるんだけど、新幹線も開業後の市街地の活性化をどうするかを今の時点から考える提案をしたいという意向で、プロポーザルでこの事業者が選ばれました。でタイトルにあるとおり、短期ではございません。中長期的のものの提言をして欲しいと。これが、私がいただいた指示です。そして当然7年後になるのか、10年後になるのかというのは、当時私担当課長していても感じるままでございましたけども、当時の町長も副町長もいつかは市街地の空洞化を防ぎたいと、こういうことでエリアを決めるまでに至らない中で観光客の目線でドーコンさんから自由な提言を、ですから非常に厳しい表現の部分もありますけども、そういうものを作り上げた。

もう1つ、ハード系がやはり中心になってきたもんですから、それは時の町長も副町長も私も同じ考えでございますけども、そう簡単に新幹線開業後、直には出来ななだけでも、将来の町のこの市街地空洞化に資するものをコンサルの事業者、改めてこの時に作り出したのが町内の各課長による市街地活性検討委員会で、という位置付けを課長方ほとんどで作ってソフト系事業、それまでソフト系事業で乗り切ろうと、こういうことで作ったものでございまして、ほぼ終わりますけども私の手元に書類は時間もなくて、26年の5月に議員各位ということで私の手元にあるんですけども、これは当時の議員に私の記憶では、議員の議会の箱の方に入れたか、公書まであるんです。町長名で議員各位で、私これ私の当時のこれは当然予算化したものでございまして、隠す何ものもなく、それから時の町長も副町長も私もそうですが、予算を掛けてやったものを内部で手元に置いて、議員さんに配布しないということではなくて、議員の箱に、なぜそういう状況が作られてかと言うと、これ若干すべてがあれですが、給食センター問題が平成25年度に起きて、この26年の、この言わば各月が町長選挙を前にして、給食センター問題でもう一色だったと、こういうことでございます。

すべての議会全員協議会も含めて給食センター問題で費やした、そういう状況の中での提出なものですから、本来であれば全員協議会等に説明も加える資料になったかと思いますが、間違いなく私の手元に町長名で各議員に、ただほとんどの資料は給食センターの関係だったとこういうことで私の段階からは以上でございます。はい。

(議長)

はい。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

小野寺議員から3つのうち、今副町長の方で1つお答えさせて頂きました。寒地港湾の報告書、研究に関する報告書、こういうのがあったら出すべきだろうということでのご指摘だったと思います。ご覧のとおり表紙に書いてありますけど341ページで、この寒地港湾研究所は目的として奥尻港と江差港、ここの振興策についてをメインにここで作っておられます。その中で目次の参考資料のところに、これがうちの北の江の島があります。そういう振興策の中で北の江の島も是非じゃあそこで一緒に考えて見ましようかというご提案で、あくまでもあちらの方から作っていただいたということです。少なくとも税金でというお話がありましたけども、当然国の方のお金が入っているかも知れませんが、我々は作っていただいて確かにこういうのをすべからず皆さんにお渡しできればいいのかも知れませんが、あくまでも参考という形で我々が貰ったものですから、議員の皆さんにですね、配布はさせていただいていなかったということでご理解頂きたいと思います。

あとこういうところがどうやってその構想の中で、反映されるんだというお話がありました。今回の北の江の島構想のコンセプトをしっかりと基本の柱を作る中で、こういった寒地港湾さん、あるいはドーコンさん、色んなものを見ながら、ついでにその中に伝えるべくということで、恣意的と言われると、基本方針を定める中でこういうのもありますよ、そういうのを使わせて頂いたということで、ご理解頂きたいと思います。

以上です。

「小野寺議員」

はい。議長。

(議長)

はい。小野寺議員。

「小野寺議員」

はい。副町長、もしドーコンの我々の方に配られていたということであれば、大変申し訳ありません。記憶でも抜けているかも知れませんが、その点については、もしそ



うだったらお詫びいたします。

それで再質問ですが、セレクトと言うか、なかなかこれは確かに参考ですから、参考ですからそのどう思っているのかと、これはまた、難しい問題かもしれません。それで、一応参考ということで受け止めたとして、今のそのコンサルの方、1つだけ。62ページ。私これ、一、二度見てですね、いやあすごいなあと思ったんですが、例えば最終的に62ページの南埠頭エリアのロードマップがあります。これもあくまでもコンサルが、自分達がこうだったらこんなふうなロードマップを作るよって、あと参考にしてください。というぐらいのものかも知れませんが、いずれにしても南埠頭エリアを本格的に、計画をさらに実施計画にもっていくとすれば、年次は違うかもしれませんが、一定程度こういうことも含めて相当程度江差町として参考に取り入れているんじゃないのかなと気がしたんですよ。バスの待合所の関係だとか商業施設の誘致だとか、道の駅との関係だとか、これ読んでいけば本当になるほどと思って、そのロードマップなんですけどこら辺の部分今回の江差町の整備基本構想に入っていないけれども、相当程度こういうところも今参考にしているとかしていないとか、その到達点は今どんなような感じなんですか。

(議長)

はい。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

寒地港湾のロードマップがどう活かされている、今の時点で活かされているのかというお話がございました。先般2月22日に説明させていただいた拠点施設の整備構想、ここに関しては当然道の駅という部分でこのロードマップというよりも、現場の例えば開発さんとの打ち合わせだとか、そちらの方を重視させて頂いているということでご理解頂きたいと思います。

また施設を整備するためにはどうするんだ、というところでのロードマップだということでご理解頂きたいと思います。

今後全体的なところでは、またこういうのを参考にしながら、このあとの例えば南埠頭の部分も想定していかなきゃないのかなと思っています。以上です。

「小野寺議員」

はい。分かりました。

(議長)

いいですか。

はい。質疑希望ありませんか。

「萩原議員」

はい。

(議長)

はい。萩原議員。

「萩原議員」

1点だけ質問いたします。町長の執行方針では、ふるさと納税2億円となり、今の説明では1億5千万ということで、多少ずれがあるんですけども、大きな目標に向かっていくのかなと思います。実際その目標に向かってどのようなふうに取り組んでいくのかお聞きかせ下さい。

(議長)

はい。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

ふるさと納税、今、今年度8千万目標の中で来年度1億5千万を目標にするにあたってどんな取り組みをされるというところのご質問だったと思います。

まずは、実は今回2月、先般臨時交付金を使って議会の方で議決いただいた広報活動で、ふるさと納税のPR活動があります。2月を1か月、ふるさと納税のポータルサイトの中でPRに75万円掛けてさせて頂きました。それによって、前年度が110万だった2月、前々年度が130万だったものが今年度580万まで上がっています。やはりしっかりふるさと納税される気持ちのある方々にPRしていく必要があるんだなと思っています。そういう中で、今年度はそういうコマーシャル料とかPR経費を入れさせて頂きました。あるいは現在例えば、ポータルサイトも4つの窓口ですけども、それをもう少し幅広にしていくということで、たくさんの方々の目に付けていきたいなと思っています。

あとは先程参事の方の説明でありました、実はですね、やはりその納税者の皆さんの人気者の1つには、水産海産物があります。江差町、去年の秋に鮭の切り身とイクラというところでやらさせて頂きましたけども、ここはやはりすぐ売り切れてしまう。我々とすれば、そのなかなか小さい事業者ですから、そういう事業者がもっとここにチャレンジできるような、そういうやり方をしていきたいと思いました。今回補助金で50万ほど設けながら、今後に繋げていきたいというふうに考えてます。

あと今、返礼品事業者、小規模事業者が非常に多いです。ただそういう小規模事業者を大切にしながら、新たにやってみたいという方々を支援する、そういった窓口、あるいはサポートを金銭的な部分も含めてしていきたいというふうに考えています。

こういった物で伸ばしていくというのを返礼品事業者が自ら考えて、自分達も魅力あるものを増やしていく。そういう形に近づけていきたいなと考えています。

1億5千万目指して取り組んでまいりますので、一つよろしくお願いします。

(議長)

いいですか。

小野寺議員、いいですか。

萩原議員、あ、見えねがった、萩原議員、手、あげでねえど。

小林議員 手、あげでるで。(事務局長：はい)

小林議員。

「小林議員」

はい。

ふるさと納税のリポート率は。分かるようでしたら教えて下さい。

(議長)

まちづくり推進課。

「まちづくり推進課長」

大変申し訳ございません。今、資料持ってきませんでした。

「小林議員」

はい。分かりました。

(議長)

いいですか。改めてするの。今、待ってるの。

「まちづくり推進課長」

あとで、どういう、リポートの率について資料で・・・。

(議長)

うん。まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

資料でお出しできると思いますので、是非皆さんに知ってもらいたい事項なので、資料お渡しします。以上です。

(議長)

はい。次、出崎議員。

「出崎議員」

はい。先のね、江の島の構想の方の案ですが、これはっきりね、ドーコンの方では、日常の施設と観光の施設と分けるべきだとはっきり指摘してあるんですよね。今回は

日常の子供達の遊び場も入れることにしたんでしょ。だからそういう経過なんかもですね、僕はこれ貰ってそれで、全体協議会のあとですから全員協議会か。あとですからそこまでね、知らなくてああいう場に望んでいるで、こういうものはやっぱり事前にきちんと情報開示して、こういう指摘があったんだということになれば、どんな議論がそこであったなら、必ずしもドーコンのね、言うとおりにそれに合わせる必要はないと思いますよ。もちろんそれは、町のね、意思で決めればいいことですからね。そういうことも含めて、今後はやっぱりこういう、それから関連地の方の情報なんかはですね、事前に提示して欲しいというのが意見も含めてです。

(議長)

まちづくり課長。

「まちづくり推進課長」

はい。過去の諸先輩方が手掛けた色々なこういった提案だとか、構想、非常に私達もなるほどな、というふうに考えます。

そういう中で、今、開陽丸エリアのところに道の駅を拠点施設で作るというお話をさせていただいていますけども、分ける場合、施設をこう、当然そこは開陽丸エリアで開陽丸の管理、あるいは開陽丸マリーナの管理も含めてですね、そういうのとあと日常的な部分と来客を迎える、訪問客を迎えるところということで、分けるという観点も確かにあります。

ただ先般の構想の中でも示されて頂きました。今現在、開陽丸の管理棟で掛かっている経費が900万円年間掛かっているとした場合、今新たに作るのは色々な支援金を使って作ることができます。ただこれからも残念ながら人口は減少していく中で、施設を例えばあのエリアで町として二つ作るかというふうになると、なかなか厳しいというふうな判断で、一つで、ある程度の規模を持ちながら、ということでの今回の設定だったということでご理解頂きたいと思います。以上です。

(議長)

いいですか。

いいですか。

「出崎議員」

はい。いいです。

(議長)

はい。他に質疑希望ありませんか。

塚本議員。

「塚本議員」

先程の話に戻りますが、ふるさと納税7,500万上乗せですか。まだまだ私は足りないんじゃないかと思っています。PRしたらその分の跳ね返りがあったとか、返礼品が足りないとかという課題は多くあるのは分かっていますが、まだまだ江差出身の方々の関東と関西に住まわれている方にどうやってPRしていくか。

コロナ禍でなかなかそういう集まりができないのは十分、分かりますが、色んな部分で、あの時江差で育った時に食べたあのね、色んな特産物もう1回食べてみたいなあ、それで江差に寄付したいなあという人もまだいるはずなんですよね。やっぱり何億になるまでね、もっともっと八雲の40億とかってならないだろうけれども、まだまだパイが限られているので、PR方法をこのサイトにお金払って宣伝するだけでなく、色んな周知の方法をね検討していく必要があると思います。どうでしょうか。

(議長)

はい。まちづくり課長。

「まちづくり推進課長」

おっしゃるように我々も、もっと身近なPRの方法があるんだろうなと思っています。またもう1つは、そういう気持ちがあってもふるさと納税そのものに関して、ご理解されていないというか、実は例えば、私の兄弟なんかもそういうのに理解していない。例えば、2千円だけ多く出していただければ、来年度の税金が安くなるんだというところをもっとしっかりお伝えしながら、江差の物を食べて、江差を支援してくれというようなアピールを今後しっかりしていきたいと思いますのでご理解頂きたいと思います。以上です。

(議長)

いいですか。

はい。他に質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

なしですか。

なしって、はっきり言って下さい。

質疑希望ありませんので、まちづくり推進課所管予算並びに関連議案についての質疑を終わります。

シャラップ。(笑)の声)、「日本語で」の声)

説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。

休憩 1 6 : 1 4  
再開 1 6 : 1 5